

輪の国びわ湖推進協議会  
令和7年度（2025）総会 次第

■日 時：2025年5月27日20：00～21：00  
■場 所：チカ守山101号室 及び Zoom

1) 開会 司会

2) あいさつ

3) 議事

第1号議案 令和6年度（2024）事業報告（案）

第2号議案 令和6年度（2024）事業決算（案）

第3号議案 令和7年度（2025）事業計画（案）

第4号議案 令和7年度（2025）事業予算（案）

4) 閉会

第1号議案 輪の国びわ湖推進協議会令和6年度（2024）事業報告（案）  
（令和6年（2024）4月1日～令和7年（2025）3月31日）

輪の国びわ湖推進協議会（以下、協議会）では、令和6年度（2024）、「各主体との連携を深め、自転車を日常利用することの価値を高める」（自転車ありきではない弱者優先のまちづくり、自転車ネットワーク計画）を基本方針として、以下の事業を企画・実施した。

〔1〕普及啓発：自転車ファンを増やし正しい乗り方を広める

1 広報事業

(1) オンライン

びわ湖一周サイクリングを契機として、県内外に対して自転車生活の素晴らしさと具体的な導入方法を提案するため、ウェブサイトやメールマガジンなどで、びわ湖一周に関する情報や、滋賀県内のサイクリングイベント、ツアー情報などの発信を行った。

(ア) Web ページやメールマガジンなどを使った広報活動を実施。

ーWeb ページ「びわ湖一周 輪の国びわ湖」

<内容>

- ・びわ湖一周に関する情報
- ・びわ湖一周コースの紹介（マップ）
- ・びわ湖一周認定証
- ・イベント情報 など

<実施日時>

随時

<実績>

輪の国びわ湖ウェブサイトのアクティブユーザー数 2800/月

（昨年までページビュー数を記載していましたが、Gogole Analytics の指標がアクティブユーザー数に変更されているため、ここでも指標を変更します。）

ーメールマガジン「びわ湖一周メールマガジン」

<内容>

- ・関連イベントの紹介
- ・自転車関連コラム
- ・道路情報 など

<実施日時>

毎月15日、12回発行。必要に応じて臨時号を発行した

(2) オフライン

1) ビワイチガイドブックの広報

「ビワイチ公式ガイドブック びわ湖一周 滋賀じてんしゃ旅」の広報を、輪の国びわ湖のウェブサイト等で行った。

2) 広報用のパンフレットの更新・増刷・配布を行う。

10000部印刷 県庁経由で配布

3) 事業紹介パンフレットの制作・印刷を行う。

実施せず

4) 認定証取得者向けの冊子「びわこじてんしゃ」の編集・発行を行う。

自転車によるびわ湖一周及び自転車利用を推進するため、認定証取得者向けの冊子「びわこじてんしゃ」を編集。発行（年2回：2024年秋期、2025年春期）、約2000部を配布した。

配布対象は、認定書発行者への認定証への同封、協賛ショップ（泊まる）14箇所に見本誌として送付、設置した。

令和6年（2024）秋号 VOL. 24

- ◇愛車じまん
- ◇ピワイチ・コミュニティ！  
近江の街道を走り、雛人形をめぐる旅
- ◇輪の国スタッフおすすめお立ち寄りスポット  
Biwako Tourism Base を出発し、新しいびわ湖の旅へ
- ◇びわ湖の快適・安全な走り方  
白鬚神社前に県内初の自転車レーンが誕生！
- ◇輪の国なう  
第5回エコ交通セミナーを開催しました
- ◇女子的ちゃり生活  
レンタサイクルであそび滋賀・びわ湖



令和7年（2025）春号 VOL. 25

- ◇愛車じまん
- ◇ピワイチ・コミュニティ  
自分の自転車に乗って、はじめてびわ湖一周に  
チャレンジしました。
- ◇輪の国スタッフお勧めお立ち寄りスポット  
滋賀を代表するフレームビルダー、マッキサイクルズ
- ◇びわ湖の快適・安全な走り方  
「低速コース」「上級コース」「自転車歩行者専用道路」  
琵琶湖岸の道はややかしい??????
- ◇輪の国なう！  
サイクリートレインは地域活性化の鍵になるか
- ◇女子的ちゃり生活  
サイクリートレインに乗りたくな



6) 自転車利用の安全普及のためのポスターを作成、滋賀プラス・サイクル推進協議会と連携して関係箇所への配布を行う。

- (ア) 事業内容  
滋賀プラス・サイクル推進協議会との共同で  
自転車利用の安全普及のための新ポスターを県下に掲示
- (イ) 実施期間  
年1回
- (ウ) 事業概要  
今年度は実施せず

7) メディア・行政等への情報発信および講演・取材・視察対応

- (ア) 視察対応  
今年度は実施せず
- (イ) 情報発信（情報提供）  
JCB カード会員誌 JCB THE PREMIUM  
TBS テレビ ニッポン初体県  
ベネッセ 2025～2028 年度 デジタルチャレンジ/4 月  
Japan Fiesta in Christchurch 2025（ニュージーランドでのイベント）  
旅×自転車のWEBメディア「TABIRIN」

(3) 展示 PR の実施

びわ湖一周認定証の発行など輪の国びわ湖の活動の認知度向上、及び輪の国ビジョンの促進を目的に、以下の事業を実施。

(ア) 事業内容

自転車によるびわ湖一周及び自転車利用を推進するため、びわ湖一周サイクリング認定証の広報事業、及び輪の国ビジョンの促進に向けた周知を行う。

(イ) 実施日時・場所

1) 自転車イベント

サイクルモードライド大阪2024にて、滋賀プラス・サイクル推進協議会の一員としてブース出展を支援した。滋賀県内の自転車競技イベントに広告を出稿した。(東近江90分エンテューロ&クリテリウム2024年7月7日、守山野洲川クリテリウム2025年3月19日)

2) 一般イベント

- ・11月3日のピワイチの日に開催された、大津港でのマルシェ「What a wonderful otsu!! Vol.2」にブース出展し、自転車生活のPRを行った。
- ・9月25日に開催された「ごみゼロ大作戦×〇〇 at びわ湖一万博開催200日前&大阪ブルー・オーシャンビジョン達成16年前」にブース出展し、自転車生活のPRを行った。

(ウ) 受益対象者の範囲及び人数

パンフレット配布 約2500枚

## 2 びわ湖一周推進事業

(1) びわ湖一周サイクリング認定証の発行

(ア) 事業内容

自転車によるびわ湖一周を推進するため、「びわ湖一周サイクリング認定証」の発行及び「びわ湖一周サイクリング認定ステッカー」の交付事業を行った。

(イ) 実施日時

通年

(ウ) 実施場所

びわ湖一周サイクリング認定証チェックポイント(17箇所)

(エ) 受益対象者の範囲及び人数

びわ湖一周サイクリング認定証発行数 1564件

- ・1年に1回、チェックポイントの確認、メンテナンスを実施する。

(2) 協賛ショップ認定の運営

協議会の活動主旨に賛同する店舗を協賛ショップと認定し、各種サービスの提供など、自転車にやさしい滋賀づくりを目指す。

50ヶ所

## [2] 社会提案：自転車を活かす暮らし方・まちづくりを提案する

1 サイクルツーリズムシンポジウム

「サイクルトレインは地域活性化の鍵となるか

～自転車と公共交通でつくる新しい旅と日常の形～」実施報告

主旨：

自転車での観光は、地域の名所だけでなく、その間の景色を楽しみ、途中におもしろい場所やお店等があれば気軽に停まって立ち寄ることができます。

徒歩よりも広い範囲を気軽に移動でき、観光される方それぞれがお気に入りの場所を発見し、地域をより深く知ることができ、地域のファンを増やすことができます。

一方で、起点となる場所から目的地まですべての行程を自転車で移動することは、ある意味、自

転車観光の層を狭くする要因にもなっています。

列車に自転車をそのまま載せられるサービス、サイクルトレインは、ヨーロッパなどではすでに一般的であり、休日に自転車を列車に載せて遠方までサイクリングに出かける光景も珍しくありません。

日本では、自転車の車輪を外して袋に入れ、列車に持ち込む「輸行」という方法が一般的ですが、初心者にとってはハードルが高いものです。しかし近年、サイクリングによる地域の魅力発信や、電車利用の促進を目的に、日本でもサイクルトレインが増加しています。

自転車と列車を組み合わせることで、遠方からのサイクリング客を呼び込み、周遊範囲を広げることができ、満足度の向上にもつながります。また、近距離移動に適した自転車と、中長距離の移動に適した列車を組み合わせることで、自動車による移動を自転車・鉄道に置き換え、CO2排出量の削減が期待できるほか、渋滞や駐車場不足といった自動車に関する問題の解決にも寄与すると考えられます。

今回のシンポジウムでは、各地でサイクルトレインに取り組んでいる方々から、その取り組み内容、利用状況、課題についてお話を伺い、今後サイクルトレインが果たす役割、そして日本でサイクルトレインをさらに普及させるために必要なことを考えました。

日 時：令和7年2月16日（日） 12：30～16：30（開場12時）

場 所：コラボしが21 3階大会議室（大津市打出浜2番1号）

参加費：無料

主 催：歴史街道推進協議会 輪の国びわ湖推進協議会

後 援：近畿日本鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社

参加者：申込 71名 当日参加 62名

※当日の様子は下記で公開

<https://www.biwako1.jp/news/20250219192246.html>

概 要：

■基調講演 「自転車×公共交通」 金籠史彦（かねこふみひこ）氏  
（元）国土交通省 自転車活用推進本部 事務局次長／道路局 参事官  
（現）内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局 内閣参事官

■事例紹介

近畿日本鉄道株式会社 名古屋統括部 運輸部 営業課 課長 山本 淳氏  
JR西日本和歌山支社 地域共生室 課員 大石 有希子氏  
近江鉄道株式会社 和田 武志氏

■パネルトーク

パネリスト

金籠史彦氏／山本 淳氏／松田 彰久氏（JR西日本人財戦略部担当部長  
・元和歌山支社副支社長）／和田 武志氏

コーディネーター

南村多津恵（輪の国びわ湖推進協議会／くうのるくらすの創造舎）

実施風景

主催者挨拶：村岸進 歴史街道推進協議会事務局長



基調講演：金籠史彦氏



会場風景



事例発表



山本 淳氏：近畿日本鉄道株式会社

大石 有希子氏：JR西日本株式会社



和田 武志氏：近江鉄道株式会社

#### パネルトーク



#### パネラー

- 左から 山本 淳氏  
松田 彰久氏（JR西日本人財戦略部担当部長・元和歌山支社副支社長）  
和田 武志氏  
金籠史彦氏

#### コーディネーター

南村多津恵

#### 講師紹介

##### 金籠 史彦〈かねこ ひみひこ〉氏

（元）国土交通省 自転車活用推進本部 事務局次長／道路局 参事官  
（現）内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局 内閣参事官  
1976年生まれ、東京都出身。2001年に東京大学経済学部卒業後、国土交通省入省。外務省在ジュネーブ国際機関日本政府代表部参事官出向、国土交通省海事局総務課企画官等を経て、2021年～2023年に府省庁横断の自転車活用推進本部事務局次長として自転車行政に携わり、2023年より現職。  
学生時代から、自転車サークルの代表を務め自転車で日本列島縦断やアメリカ大陸横断を経験する

等、自転車にのめり込む。

現在も、家族や仲間とともにロードバイクやMTBに乗り、トライアスロンに出場する等、プライベートでも自転車を楽しむ。

自転車活用推進本部在職時代以来、サイクルメディアとタイアップした「サイクルトレイン応援ラボ」メンバーとして、自転車と公共交通機関の連携を進めるべく、同志とともに全国を駆け巡りながら、公私を問わずサイクルトレイン等を広げる運動を続けている。

#### **山本 淳〈やまもと あつし〉氏**

近畿日本鉄道株式会社 名古屋統括部 運輸部営業課 課長

入社後は車掌、運転士、助役と鉄道の現業職場で経験を積み、管理部門に異動後は職場運営を学ぶ。その後異動となった流通事業本部（現・近鉄リテーリング）では、マーケティングやアカウントティングに関する実践を重ね、サービスエリアの運営全般に取り組んだ。現職では沿線の自治体や企業と協力しながら、地域における観光の課題解決や魅力発信につながるような、鉄道を活用した旅行業・イベントの実施に注力している。

#### **大石 有希子〈おおいし ゆきこ〉氏**

2010年JR西日本入社。和歌山支社地域共生室 課員

2021年7月からサイクルトレインの企画・運営を担当。

現在凝っていることは、熊野古道ハイク、サイクリング。

#### **松田 彰久〈まつだ あきひさ〉氏**

1994年JR西日本入社。駅・車掌・駅長などの現業機関、間接部門（企画、人事、広報など）、和歌山支社副支社長を経て、2024年7月から本社人財戦略部 担当部長。

2021年6月からサイクルトレインチームのリーダーとして、和歌山県内でのサイクルトレイン施策を推進

#### **和田 武志〈わだ たけし〉氏**

近江鉄道株式会社 鉄道部 鉄道営業課 課長

1991年近江鉄道入社。駅務掛、運転士、運転指令、ダイヤ担当、運転管理者などの鉄道事業の職歴を経て、2015年から2023年まで構造改革推進部で鉄道事業の在り方検討、自治体や住民の皆さまとの交渉窓口を担当。2023年からは鉄道部で地域協働の取り組み「近江鉄道みらいファクトリー」の事務局長を務める。

現在は鉄道営業課課長としてにぎわい創生と地域共生に取り組んでいる。FMひがしおうみで月1回のレギュラー番組を担当するとともに産経新聞で3週間おきに近江鉄道各駅を紹介する記事を連載中。

#### **南村 多津恵〈みなみむら たすえ〉**

輪の国びわ湖推進協議会 運営委員。会議ファシリテータ、市民活動&環境学習コーディネータ、環境カウンセラー

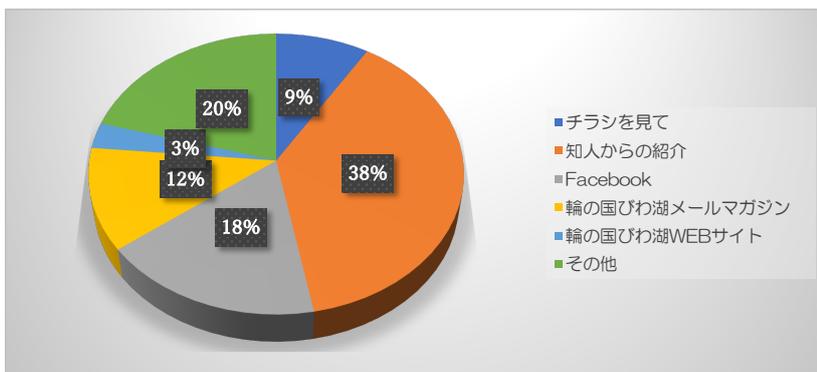
環境NPOと行政の職員を経て、エコ&ファシリテーション事務所くらのるくらすの創造舎 代表。

環境の側面から自転車と公共交通を活かしたまちづくりやエコ交通の普及に取り組む。

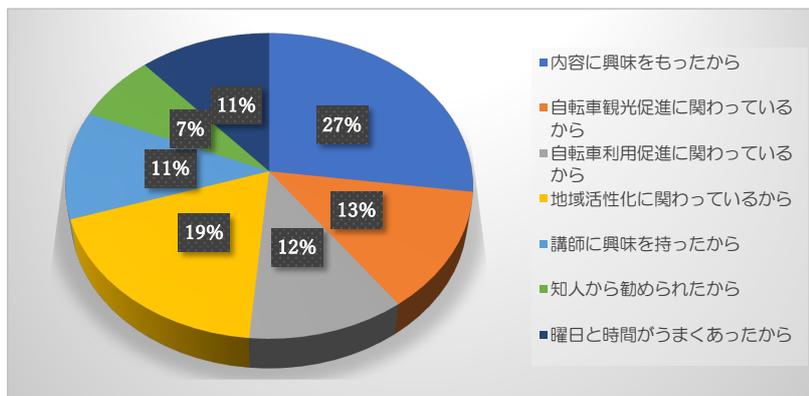
人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀（やさしい交通しが）副代表、（一社）滋賀グリーン活動ネットワーク・エコ交通研究会 事務局。

アンケート 参加者62名 回答者 30名

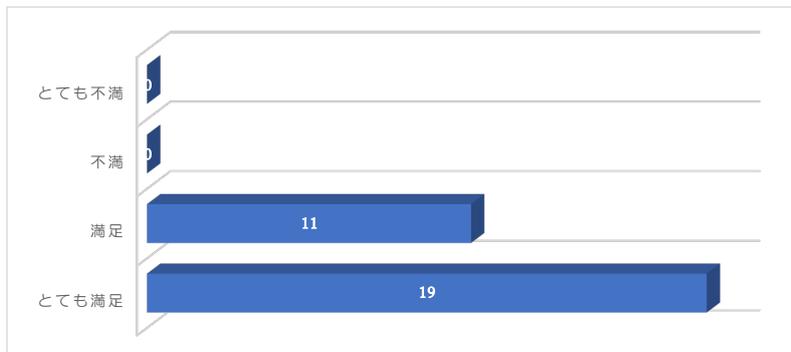
①何で御知りになりましたか



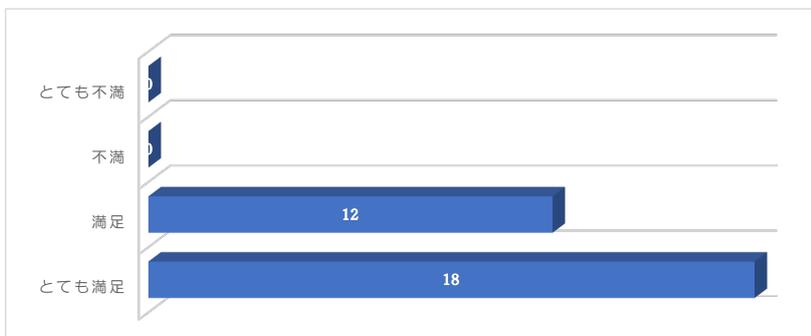
②今回のシンポジウムを聴講しようと思った理由



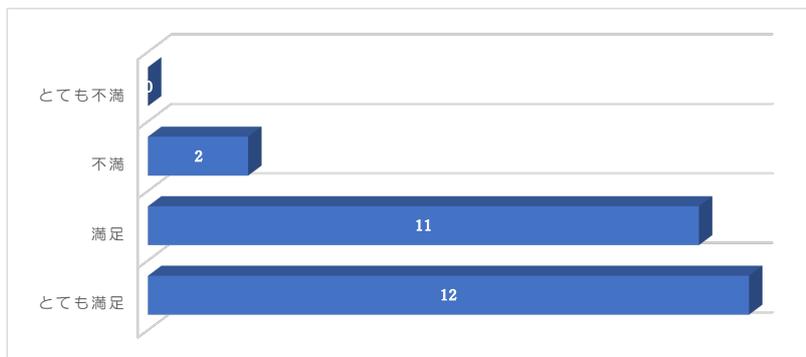
③基調講演はいかがでしたか



#### ④事例紹介はいかがでしたか



#### ⑤パネルトークはいかがでしたか



(ステージがあるので、ステージの上でやった方が良い。時間が長すぎると思います)

#### ⑥印象に残ったことは何ですか

- 参加メンバー (聞いている側) がすごい! 最後の松田さんの言葉が心に残りました。
- サイクルトレインの推進。課題、解決方法について、ほぼ全てをカバーしている内容だったと思う。新たな取り組みを進める際の超えるべきハードルについて、鉄道会社の立場からリアルな話を聞くことができました。沿線地域側の方々の話を次回は是非聞きたいです。
- 時間があつという間にすぎたこと
- ハードウェア×ソフトウェア×オルグウェアの視点は、サイクルトレインに限らず、あらゆる物事で大事だと思いました。パネルトークを聞いていても実施後もこの関係を継続進化させていくことがサイクルトレインがもっと盛り上がっていく要諦かと感じました。
- 実施している事業者が抱える課題は同様の所が多いと感じた。
- 全国各地で様々な形でサイクルトレインを実現されていることが印象に残りました。
- サイクルツーリズムにおいて、サイクリングを移動の一部とし、そこをサイクルトレインという手段を用いてより拡充させていくことで、消費の拡大や地域振興につながるという考え方。
- 熱意のある「人」「少しの勇氣」「相互理解」「地域のもりあがり」キーワードが多くありました。
- 近江鉄道のサイクルトレイン導入のきっかけは乗客減。

- ・ピワイチにも前から興味があるので、近江鉄道様の取組について興味深かった。各自治体との取組みも面白かった。
- ・サイクルトレインの定着に向け、官民の近年の動きがわかり、皆様の想いも知れ、勉強になりました。
- ・「電車の中に自転車があるが、普通の風景になる」を目指そう！
- ・マナーやトラブルの問題がほぼないというのが発見だった。バリアフリー、シームレス化の課題はあるが、行政、鉄道事業者、地域が知恵を絞れば、解決できるのではと感じた。
- ・サイクルトレインの取組をすすめるうえで、鉄道会社様の苦労や工夫を知ることができた。
- ・近鉄さんの施策がかなり苦労されている点が興味深かった。
- ・利用者側の意識（マナー）とあわせて進めていくことが重要であると感じた（高校生マナーなど）
- ・基調講演でリソースの話があったが、ハード面とソフト面の両論で、導入を検討すべきだと改めて感じました。
- ・関係者の方々のご苦労
- ・普及の理由の一つが送迎の負担への貢献だったということ
- ・事業としてのみだけでなく、地域との関わりが積極的だと感じました。
- ・また、多くの事業者の課題は大体同じなんだなと思いました。
- ・走行空間のみでなく、サイクルトレインも地域利用者の理解、マナーの醸成が重要なんだと思いました。
- ・サイクルトレインの運行に地域差が大きいと感じました。
- ・各鉄道会社の努力
- ・JR や近鉄の担当者を連れてきたのは凄いなあ
- ・近江鉄道のサイクルトレイン利用者は日常利用者が多く、ママチャリなども乗っていること
- ・国土交通省の中でサイクルツーリズムに本気で取り組んでいる方がいることに驚きました。サイクルトレインの実践では近江鉄道さんが飛び抜けているなと思いました。昔、輪行が出来なかった近鉄さんも、サイクルトレインを実施するまでになった事が感慨深いです。

#### ⑦今後どのようなテーマであれば参加してみたいと思いますか

- ・サイクリストにやさしい宿について、トラブル発生時（パンク、故障）対応サービスについて、各地域はどうしているのか
- ・サイクルトレインのみならず公共交通に関するテーマ
- ・今回はサイクル×鉄道でしたが、さらに「×観光」の組み合わせも裾野が広がるかと思いました。地域の飲食店、宿泊業者等も呼ぶなどいかがでしょう。
- ・サイクリングと観光について（どのように消費を増やすか）
- ・無人駅の利活用について（鉄道事業者、地域の人、利用者などの目線で捉え、増えゆく無人駅について考える等）
- ・サイクルツーリズムとインバウンドや他県との連携など
- ・ガイド付きサイクリングツアー
- ・観光をテーマにした取り組みがあれば参加したいです。滋賀県は国スポ等により、今年注目、新しくオープンするたねやの取組なども聞いてみたいです。
- ・自転車文化の継承、子どもたち、女性の利用促進
- ・特に思いつきませんが、今後も自転車を切り口に活動を進めてほしいです。
- ・サイクリング以外の分野の有識者も呼んだ討論会
- ・サイクルバスのケース
- ・ライフサイクルにおける自転車との関わり方？利活用？
- ・LRT、近江鉄道
- ・サイクルツーリズムのコンテンツ開発とか取組みとかを取り上げて欲しい。

#### ⑧本日のご感想、その他のご意見・ご感想があればお聞かせください

- ・久しぶりにすごく楽しかったです。お話をいただきありがとうございました。楽しい会はあっという間に終わります。（津田）
- ・遠路来た甲斐がありました。ありがとうございました（濱田）
- ・（浅野）

- パネルトークは毎回全員回答よりもこのテーマ、質問はこの人等にして、色々なテーマに広げていくのもいいかなと思いました（後藤）
- 日常利用があたり前になるためには、住民、行政、鉄道事業者の理解が必要になると感じた。
- とても楽しい機会をいただきありがとうございました。（中川）
- 非常に勉強になりました。ありがとうございました（米谷）
- 非常に楽しくまた学ぶことの多いシンポジウムでした。ありがとうございました。（桑原）
- （宮内）
- パネルトークはもう少し時間があっても良かった。また、受講者の段階状況（やっている、やりたい、広がりたい）が、広い中で、深い議論があってとても素晴らしい会でした。ありがとうございました。鳥取がんばります！（中原）
- どのテーマも参考になり、勉強になりました。（高橋）
- 本日は事前予約ができたおらず、ご迷惑をおかけしました（山本）
- 自転車=危ない、マナー悪い、イメージを払拭するには……ずっと考えています。今回もそれが大切だと思いました。（山中）
- 自転車は何にでもつながれる。横ぐしの掛け算が大事。という言葉が響いた
- サイクルトレインについて熱い気持ちをもってすすめておられる方の話を聞いて、刺激になりました。（樋上）
- 貴重なお時間を提供いただき、ありがとうございました。（中西）
- パネルトークが残念だった。本来の目的は地域活性化であってそこにサイクルトレインがどう寄与している（または寄与しきれていない）かを議論してほしかったが、サイクルトレインが目的化した話に終始したと感じた。コーディネーターの方がバイアスがまづかったのかも（前段のスライドなど）
- ポイントを絞っての説明の方が良かったと思います。推進前提で「ここが難しい、導入ハードルがある」など。（尾井）
- （島津）
- タイムリーな話題、課題だったので非常に有意義でした。
- 飛行機のようなオープンジョーヤストップオーバー的な利用はと思っていたが、そのような考えもあったので良かった。
- 観光の活動範囲の拡大や多様になってきたので、サイクリングで往復での時間の利用の仕方によって滞在時間や観光時間の機会損失が補われると思った。
- “公共交通機関同士に連携を持たせて、サイクルトレインの運行が広がって欲しいです。どこでも日常的に利用出来るようになって欲しいです。”
- 今後の展開が少しわかりました
- PDFの地図だけでは コラボしが の場所が、わかりにくかった
- サイクルトレインもツールの一つで目的ではない
- 時間が長い。サイクルトレインを利用していて自転車を利用されていない人の声も聞きたい。乗りたい人はよく思っているのはもちろんだと思うが、乗り合わせた人は本当に何も思っていないのか。
- 趣味として自転車を楽しんでいる者です。時々、自転車雑誌にサイクリングレポート等を寄稿させていただいております。自分のサイクルツーリングのプランニングの参考にと思い、聴講させていただきました。今回は国土交通省さんのサイクルツーリズムへの取り組みや、サイクルトレインを実施している鉄道業者さんの苦労話など、普通にサイクリングしているだけでは解らないお話が聞けて良かったです。パネルトークに関してはサイクルトレインを実現することにはばかりに議論が集中し、サイクルツーリズムのコンテンツに関する事がぜんぜんありませんでした。4時間の長丁場でしたが、もう少し休憩の時間が欲しかったと思います。あと今回のシンポジウムのパンフに「会場へは公共交通機関または、自転車をご利用ください」記載がありましたが、自転車で会場まで来たのはきっと私だけだったと思います。残念ながら会場の来客者の駐輪場は、スポーツバイクを置けるような状況ではありませんでした。シンポジウムの時だけバイクラックを置いてくれとまでは言いませんが、駐輪場の状況はきちんと告示するか、あるいは「公共交通機関を利用下さい」とすべきだと思います。今回は乗って来た自転車が折り畳みの小径車でしたので、輪行袋に入れて会場に持ち込んで対応しました。

## 2 清掃活動×サイクリング

「ごみゼロ大作戦×〇〇 at びわ湖一万博開催 200 日前&大阪ブルー・オーシャンビジョン達成 16 年前一（主催：ごみゼロ共創ネットワーク）において体験活動を提供した。びわ湖周辺で活動する様々な団体の話を聞いた後、Biwako Tourism Base の電動アシスト付き自転車を手借りして、湖岸を 5~6km ほどサイクリングした。日ごろ楽しませてもらっているびわ湖に感謝を込めて、サンシャインビーチでゴミを拾った。

日時：2024 年 9 月 25 日（水）14:00-18:00

場所：ピアザ淡海からサンシャインビーチ

参加：8 名

主催：ごみゼロ共創ネットワーク（京都超 SDGs コンソーシアム）

※「清掃活動×サイクリング」の企画運営は 輪の国びわ湖推進協議会



## 3 エコ交通の推進

(1) 一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク（SGN）内にてエコ交通研究会を運営し、エコ交通の普及を図った。

滋賀グリーン活動ネットワーク（SGN）エコ交通研究会

通勤や事業活動における自動車の利用を公共交通および自転車、カーシェアリング等の環境配慮型の交通利用にシフトすることで、交通部門の CO2 排出量を削減します。これにより自動車利用が当たり前という現代のパラダイムを転換し、通勤以外の移動の場においても公共交通および自転車等の交通分担率を上げ、滋賀社会の脱炭素化に貢献する。

### 1) 第 5 回エコ交通セミナーの開催

「気候危機と人手不足の時代を三方よしの交通で乗り切ろう 持続可能な社会への事業者・行政・市民の挑戦」

CO2 ネットゼロ社会をめざして、滋賀県が排出量半減の目標を掲げる 2030 年まで 6 年を切った。滋賀県では運輸部門における CO2 排出量の約 91.7%が自動車に由来している。人手不足の時代、環境意識の高い若い世代から優秀な従業員を確保するためには、事業所への車以外でのアクセスを保证することは欠かせない。

一方、超高齢社会での医療費抑制が社会課題になる中、エコ通勤により従業員の心身の健康状態が改善するという研究結果が出ている。

過度な車依存の中で交通渋滞や公共交通の衰退も問題となっており、事業活動の継続性や地域社会と地球環境の持続可能性を考える上で、社会全体として移動のあり方を問い直すことが求められている現代。

持続可能な交通（EST）を学び、企業における環境経営と健康経営を融合させた取組、エコ交通による具体的な健康効果、事業者が協力して公共交通を支える事例を押さえた上で、各々ができること、協力してできることを考えた。

日時：令和 6 年（2024）年 7 月 23 日（火）13:30-16:30

場所：コラボしが 21 3 階 中会議室

共催：一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク・エコ交通研究会、輪の国びわ湖推進協議会

概要：基調講演「環境にも地域社会にもやさしい交通を目指して」

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 岡本英晃氏（オンラインでの講演）

活動報告「環境経営と健康経営の実践による効果」

エコ交通研究会 牛谷健司（株式会社日立建機ティアラ）

活動報告「自転車通勤による健康増進と医療費の削減」

エコ交通研究会 松浦 是（NPO 法人自転車活用推進研究会）

活動報告「大津市のバス環境から考える公共交通の役割（仮）」



エコ交通研究会 畑中則宏（おおつ交通まちづくり推進会）  
活動報告「公共交通を利用した通勤への取組」  
滋賀県土木交通部 県東部地域公共交通支援室 室長 森原広将 氏  
ディスカッション「令和の社会課題にエコ交通で挑む」  
パネリスト：岡本英晃氏、牛谷健司、松浦是、畑中則宏、森原広将氏  
コーディネータ：輪の国びわ湖推進協議会 佐々木和之

参加者：33人

報告：<https://posfie.com/@kuunoru/p/YOgi5AM>

当日の動画を下記で公開しています。

<https://www.biwako1.jp/news/20240815203544.html>

(2) 人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀（やさしい交通しが）に参画し、国土交通省の共創プロジェクトに応募して「まちづくりと交通の広場 しが2024」を開催した。前年度講座の修了生らが三つのプロジェクトを実施するとともにそのプロジェクトを支えるためのノウハウ講座と地域に向けた成果発表・交流会を開催し、のべ248人（イベント立ち寄り者を除く）の参加を得て、交通まちづくりの活動を広めた。

「まちづくりと交通の広場しが2024」三つのプロジェクト＋基礎講座

\*プロジェクト1 沿線市民に共創プラットフォームを作る講座

（愛称：コミュニティ・モバイル・カレッジ(CMC)）

2025/1/26 13:00-15:30

『100%近江産デニム』は可能かー綿花揺れるガチャコン沿線のものごたりに思い描くー

\*プロジェクト2 駅で多様な住民活動団体が協業する講座と実習（愛称：駅バル事業）

2024/9/15、2024/9/22、2024/10/6 駅バル事業企画会

2024/10/19 駅伝カフェ・バル&マルシェ in ガチャフェス2024

2025/1/12 駅バル事業ふりかえり会

\*プロジェクト3 交通・都市空間デザインの学生講座と実習（愛称：シオラマプロジェクト）

2024/11/9 ワークショップ 2024/11/17 駅あるき

2024/12/7、2025/1/5、2025/1/12、2/1 シオラマ作成ワークショップ

\*実践！交通まちづくり 市民活動プロデュース講座

2024/9/15 第1回「やりたいことを実現するマネジメント」

2024/9/15 第2回「協働できる会議をつくろう」

2024/10/5 第3回「協力者を増やし、仲間と活動を進めよう」

\*成果発表・地域交流会

2025/2/11 「まちのわ会議 活動事例で考える近江鉄道沿線のこれから」

事業概要 → <https://t.co/C3FGEcOIX>

### 3 カーゴバイクシンポジウム

ヨーロッパで普及が進む、カーゴバイクの認知を日本でも高めるためのシンポジウムの開催を検討したが、実施せず。

## [3] 調査研究：自転車の使いやすい環境やツール等について研究する

### 1 もう一つのびわ湖の楽しみ方提案

女子的ピワイチを通じた研究を行う。「初めてのピワイチ」「女子のための自転車生活のはじめ方」等の検討を行った。

### 2 自転車女子コミュニティづくり

自転車を楽しむことや自転車と暮らすことを自分のライフスタイルに選ぶ女性「自転車女子（ちゃり女）」を増やすための試行をおこなう。

・ライングループで、個人で訪問した自転車旅などの情報交換をおこなった。

### 3 輪学の開催

自転車関係者のネットワーク強化を念頭におき、自転車に関する事柄をさまざまな角度から勉強していくことを目的に、公開での勉強会や講演会を実施した。

本年度は特に、自転車関係者のネットワーク強化を目的に開催した。

・第一回「自転車道・カーゴバイク・サイクルトレイン

——世界で進む自転車活用のキーワード」

実施日：11月8日（金）19:00～21:00

場 所：草津市立市民交流プラザ及びZoomでのオンライン

話題提供：藤本芳一（輪の国びわ湖推進協議会 会長）

内 容：クルマから自転車・公共交通へ。環境に配慮し、人にやさしく住みよい地域を作るため

に、世界は今、大きく動いています。

先進国を中心に自転車道整備、そしてカーゴバイクやサイクルトレインの利用促進が行われ、

これらは既に当たり前の社会インフラになりつつあります。

多くの街でクルマの車線を削って自転車道が作られています。

カーゴバイクは、大きな荷物を運搬でき、トラックの代わりになります。子ども乗せ自転車

としてもよく使われ、重心が低く子どもが前に乗るので親からよく見えるため日本の

子ども乗せ自転車より格段に安全です。

近距離移動に適した自転車と、中長距離移動に適した鉄道を組み合わせられるサイクル

トレインがあれば、クルマが無くてもどこでもスムーズに移動することができます。

世界各地を自転車で走り、自転車活用の先進地域を見てきた輪の国びわ湖会長の藤本が、

この三つキーワードを元に世界各地の事例を紹介しました。

当日の動画を下記で公開しています。

<https://www.biwako1.jp/news/20241113153443.html>

・第二回 鉄道人から学ぶ 「誰もが気軽に移動でき、街が活性化する公共交通と自転車の関係」

実施日：12月16日（月）19:00～21:00

場 所：Zoom 会議室（オンライン開催）

話題提供：山田和昭さん（合同会社日本鉄道マーケティング 代表）

内 容：自転車の活用を進めていくためには、公共交通との連携を考えることも大切です。駅の

駐輪場には多数の自転車が置かれ、多くの通勤・通学者が自転車と公共交通を合わせて利

用しています。

しかし、公共交通の活用と自転車の活用を一体で考える動きは日本ではほとんど目立ちま

せん。そもそも公共交通とは何か、日本においてはどのような状況にあるのか、今回は自

転車人としてまず基本を学びました。

また、欧州ではサイクルトレインが普及する一方、日本ではこれが進まない事情も解説い

ただき、誰もが気軽に移動でき、街が活性化する公共交通と自転車の関係について考えま

した。

当日の動画を下記で公開しています。

<https://www.biwako1.jp/news/20241227195954.html>

・第三回「デンマークのエコ生活やコペンハーゲンでの自転車事情」

実施日：1月24日（金）19:00～21:00

場 所：草津市立市民交流プラザ 小会議室 5

または、オンライン（ZOOM）

話題提供：北川容子さん

内 容：デンマーク コペンハーゲンは世界最高の自転車都市となることを目標に、既に住民の2

人に1人以上が毎日自転車に乗って通勤・通学をしている都市として有名です。そんなコ

ペンハーゲンに住むと実際の自転車事情はどんな感じなのでしょう。

北欧、デンマークでの生活を通して感じてきた、地球環境・エコに対する市民の意識や

生活の工夫についてお話頂き。少し不便でもいい、完璧でなくてもいい、そんなシンプ

ルでゆるく豊かなデンマークのエコ生活やコペンハーゲンでの自転車事情などをお伺い

しました。

当日の動画を下記で公開しています。

<https://www.biwako1.jp/news/20250126122335.html>

4 受託事業の実施

1) 滋賀プラス・サイクル推進協議会の事務局を担当した。

2) その他、輪の国推進協議会の理念を実現するために必要な事業を円滑に行うために設立された(一社)輪の国びわ湖の事業への協力をおこなった。

- ① サイクルサポートステーション講習会
- ② ビワイチマップ改訂
- ③ 走行台数カウント

**[4] ネットワーク活動：交通に関連する団体や個人と関係を深める**

1 滋賀グリーン活動ネットワーク エコ交通研究会との連携  
自転車通勤等のエコ通勤やエコ交通システムの普及啓発について研究および実践を行った。

【2】 1 参照

2 日野町わたむき自動車プロジェクトとの連携  
2024年5月21日「わたむき自動車プロジェクト」推進協議会の総会に出席し、意見を述べた。

3 その他

4 会議の実施  
協議会事業の推進のため、運営委員会として「輪の国びわ湖」ミーティング及びリトリートを実施する。

1) リトリート  
今年度は実施せず(次年度4月に実施)

2) 定例会議の実施  
協議会事業の推進のため、「輪の国びわ湖」ミーティングを実施した。

**実施日時、実施場所**

実施日	名称	場所
2024/4/16	「輪の国びわ湖」ミーティング Vol.172	zoom・チカ守山 103 号室
2024/5/30	「輪の国びわ湖」令和 6 年度総会	チカ守山 116 号室
2024/6/19	「輪の国びわ湖」ミーティング Vol.173	:Zoom、チカ守山 116 号室
2024/7/30	「輪の国びわ湖」ミーティング Vol.174	Zoom
2024/8/20	「輪の国びわ湖」ミーティング Vol.175	Zoom、チカ守山 101 号室
2024/9/24	「輪の国びわ湖」ミーティング Vol.176	Zoom、チカ守山 101 号室
2024/10/15	「輪の国びわ湖」ミーティング Vol.177	Zoom
2024/11/19	「輪の国びわ湖」ミーティング Vol.178	Zoom、チカ守山 116 号室
2024/12/26	「輪の国びわ湖」ミーティング Vol.179	Zoom
2025/1/21	「輪の国びわ湖」ミーティング Vol.180	Zoom、チカ守山 101 号室
2025/2/18	「輪の国びわ湖」ミーティング Vol.181	Zoom
2025/3/18	「輪の国びわ湖」ミーティング Vol.182	Zoom

上記とあわせ、事業進捗を確認する進捗 MT を原則週 1 回、オンラインを活用して実施した。

年 1 回開催するリトリートについては、2025年4月12日に開催する。

第2号議案 輪の国びわ湖推進協議会 令和6年度(2024)事業決算(案)

令和6(2024)年4月1日 から 令和7(2024)年3月31日 まで

収入の部			
項目		R6決算額	R6予算額
繰り越し		¥1,262,648	¥1,262,648
事業収入			
びわ湖一周サイクリング認定証	1564	¥2,097,200	¥2,160,000
Webページ広告収入		¥0	¥0
書籍販売収入(買上)		¥0	¥0
書籍印税収入		¥7,203	¥0
出展費(協賛金収入)		¥0	¥0
輪学会費		-	-
受託事業費		¥0	¥0
物販		¥0	¥0
寄付金		¥65,856	¥50,000
講演・取材対応		¥0	¥0
ロイヤリティ		¥106,556	¥40,000
基金			
ガイドブック作成費		¥0	¥0
雑収入			
利子		¥485	¥100
雑収入		¥1,000	¥1,000
合計		¥3,540,948	¥3,513,748
支出の部			
項目		R6決算額	R6予算額
事業費			
びわ湖一周サイクリング認定証事務費	1564	¥1,308,196	¥1,260,000
びわ湖一周サイクリング認定証材料費		¥301,470	¥100,000
びわ湖一周システム改修費		¥0	¥0
広報費(パンフレット等)		¥100,340	¥80,000
広報費(Webサイト・メルマガ)		¥45,760	¥50,000
物販		¥0	¥0
寄付金付き自販機事業		¥0	¥5,000
輪学運営費		¥21,330	¥200,000
エコ交通の推進		¥185,000	¥200,000
出展費(11/3イベント含む)		¥10,000	¥10,000
安全啓発ポスター		-	-
ガイドブック・Webサイトに向けたコンテンツ作成		-	-
もう一つのびわ湖の楽しみかた提案		¥120,000	¥120,000
受託事業費		¥0	¥0
講演取材対応		¥0	¥0
事務費			
会議運営・総会運営		¥120,000	¥120,000
会議会場費用		¥23,750	¥50,000
事務局FAX費		¥13,046	¥12,936
税理士		¥165,000	¥165,000
運営費			
ホームページサーバー費		¥5,238	¥5,238
ホームページドメイン費		¥3,124	¥3,124
ホームページメンテナンス費		¥50,000	¥50,000
諸会費			
びわこビジネスビューロー会費		¥10,000	¥10,000
滋賀グリーン活動ネットワーク会費		¥5,000	¥5,000
基金			
ガイドブック作成費		¥100,000	¥100,000
法人税			
法人税		¥190,000	¥200,000
雑費			
振込手数料		¥18,643	¥25,000
その他雑費		¥9,560	¥742,450
合計		¥2,805,457	¥3,513,748
	差し引き	¥735,491	¥0

収入の部			
項目		R6決算額	R6予算額
繰り越し		¥1,262,648	¥1,262,648
事業収入			
びわ湖一周サイクリング認定証	1564	¥2,097,200	¥2,160,000
Webページ広告収入		¥0	¥0
書籍販売収入(買上)		¥0	¥0
書籍印税収入		¥7,203	¥0
出展費(協賛金収入)		¥0	¥0
輪学会費		-	-
受託事業費		¥0	¥0
物販		¥0	¥0
寄付金		¥65,856	¥50,000
講演・取材対応		¥0	¥0
ロイヤリティ		¥106,556	¥40,000
基金			
ガイドブック作成費		¥0	¥0
雑収入			
利子		¥485	¥100
雑収入		¥1,000	¥1,000
合計		¥3,540,948	¥3,513,748
支出の部			
項目		R6決算額	R6予算額
事業費			
びわ湖一周サイクリング認定証事務費	1564	¥1,308,196	¥1,260,000
びわ湖一周サイクリング認定証材料費		¥301,470	¥100,000
びわ湖一周システム改修費		¥0	¥0
広報費(パンフレット等)		¥100,340	¥80,000
広報費(Webサイト・メルマガ)		¥45,760	¥50,000
物販		¥0	¥0
寄付金付き自販機事業		¥0	¥5,000
輪学運営費		¥21,330	¥200,000
エコ交通の推進		¥185,000	¥200,000
出展費(11/3イベント含む)		¥10,000	¥10,000
安全啓発ポスター		-	-
ガイドブック・Webサイトに向けたコンテンツ作成		-	-
もう一つのびわ湖の楽しみかた提案		¥120,000	¥120,000
受託事業費		¥0	¥0
講演取材対応		¥0	¥0
事務費			
会議運営・総会運営		¥120,000	¥120,000
会議会場費用		¥23,750	¥50,000
事務局FAX費		¥13,046	¥12,936
税理士		¥165,000	¥165,000
運営費			
ホームページサーバー費		¥5,238	¥5,238
ホームページドメイン費		¥3,124	¥3,124
ホームページメンテナンス費		¥50,000	¥50,000
諸会費			
びわこビジネスビューロー会費		¥10,000	¥10,000
滋賀グリーン活動ネットワーク会費		¥5,000	¥5,000
基金			
ガイドブック作成費		¥100,000	¥100,000
法人税			
法人税		¥190,000	¥200,000
雑費			
振込手数料		¥18,643	¥25,000
その他雑費		¥9,560	¥742,450
合計		¥2,805,457	¥3,513,748
	差し引き	¥735,491	¥0

削除:

輪の国びわ湖推進協議会令和6年度貸借対照表  
令和7（2025）年3月31日現在

令和6年度 貸借対照表			
資産の部		負債の部	
預金・現金	¥820,846	未払金	¥7,179,253
未収金	¥9,130,879	預り金	¥356,246
流動資産計	¥9,951,725	負債計	¥7,535,499
		純資産の部	
固定資産計	¥0	繰越利益	¥2,416,226
		純資産計	¥2,416,226
資産合計	¥9,951,725	負債及び純資	¥9,951,725
令和6年度 ガイドブック基金			
項目	収入	支出	残高
積立	¥100,000		¥200,000

監査報告書

回答を編集できません

令和6年度 監査報告書

\* 必須の質問です

輪の国びわ湖推進協議会藤本芳一 殿

令和6年度の会計について監査した結果、適正に処理、記載されていると認める。\*

海老島 均

送信日時: 2025/05/26 20:35

回答を編集できません

令和6年度 監査報告書

\* 必須の質問です

輪の国びわ湖推進協議会藤本芳一 殿

令和6年度の会計について監査した結果、適正に処理、記載されていると認める。\*

佐々木真紀

送信日時: 2025/05/25 14:23

第3号議案

**輪の国びわ湖推進協議会令和7年度（2025）事業計画（案）**  
（令和7年（2025）4月1日～令和8年（2026）3月31日）

輪の国びわ湖推進協議会（以下、協議会）では、令和6年度、以下の方針に基づき事業を推進する。

**【輪の国びわ湖令和7年度（2025）事業について】**

**[1] 普及啓発：自転車ファンを増やし正しい乗り方を広める**

1 広報事業

(1) オンライン

1) 「輪の国びわ湖」ウェブサイトの運営

びわ湖一周サイクリングを契機として、県内外に対して自転車生活の素晴らしさと具体的な導入方法を提案するため、ウェブサイトやメールマガジンなどで、びわ湖一周に関する情報や、滋賀県内のサイクリングイベント、ツアー情報などの発信を行う。

(ア) 事業内容

Web ページやメールマガジンなどを使った広報活動を実施する。

Web ページ「びわ湖一周 輪の国びわ湖」

<内容>

- ・びわ湖一周に関する情報
- ・びわ湖一周コースの紹介（マップ）
- ・びわ湖一周認定証
- ・イベント情報 など

メールマガジン「びわ湖一周メールマガジン」

<内容>

- ・関連イベントの紹介
- ・自転車関連コラム
- ・道路情報  
など

(イ) 実施日時

通年

メールマガジン：毎月15日発行。必要に応じて臨時号を発行する。

(ウ) 実施場所

びわ湖一周サイクリング応援メールマガジン ※配信数の目標値は定めない  
輪の国びわ湖ウェブサイトのページビュー 約40,000/月

(2) オフライン

1) ピワイチガイドブックの広報

2) 広報用のパンフレットの更新・増刷・配付を行う。

3) 事業紹介パンフレットの制作・印刷を行う。

4) 認定証取得者向けの冊子「びわこじてんしゃ」の編集・発行を行う。

(ア) 事業内容

自転車によるびわ湖一周及び自転車利用を推進するため、認定証取得者向けの冊子「びわこじてんしゃ」を編集・発行する

(イ) 実施日時

びわこじてんしゃの発行：年2回（令和6年（2024）秋期、令和7年（2025）春期）

- (ウ) 実施場所  
認定証取得者への認定証へ同封、協賛ショップ（泊まる）の客室に 14 箇所各号約 700 部見本誌設置
- (エ) 受益対象者の範囲及び予定人数  
びわこじてんしゃ配布数 約 3000 部

4) 自転車利用の安全普及のためのポスターを作成、滋賀プラス・サイクル推進協議会と連携して関係箇所への配布を行う。

- (ア) 事業内容  
滋賀プラス・サイクル推進協議会との共同で  
自転車利用の安全普及のための新ポスターを県下に掲示
- (イ) 実施期間  
年 1 回
- (ウ) 事業概要  
自転車の安全確保に向けた取り組みの一つとして、マンガを用いた自転車利用の安全普及のためのポスター掲出を実施する。

5) メディア・行政等への情報発信および講演・取材・視察対応を行う。

### (3) 展示 PR の実施

びわ湖一周認定証の発行など輪の国びわ湖の活動の認知度向上、及び輪の国ビジョンの促進を目的に、各地、各団体が開催する展示会などに出席、PR 活動を実施する。  
また、あわせて自転車関連団体との交流を図る。

- (ア) 事業内容  
自転車によるびわ湖一周及び自転車利用を推進するため、びわ湖一周サイクリング認定証の広報事業、及び輪の国ビジョンの促進に向けた周知を行う。
- (イ) 実施日時・場所  
1) 自転車イベント  
サイクルモード、モリイチスタンプラリー等  
2) 一般イベント  
予定なし
- (ウ) 受益対象者の範囲及び人数  
パンフレット配布 約 3000 枚

## 2 びわ湖一周推進事業

### (1) びわ湖一周サイクリング認定証の発行

- (ア) 事業内容  
自転車によるびわ湖一周を推進するため、「びわ湖一周サイクリング認定証」の発行及び「びわ湖一周サイクリング認定ステッカー」の交付事業を行う。
- (イ) 実施日時  
通年
- (ウ) 実施場所  
びわ湖一周サイクリング認定証チェックポイント（17 箇所）
- (エ) 受益対象者の範囲及び人数  
びわ湖一周サイクリング認定証 目標値 1800 件  
・ 1 年に 1 回、チェックポイントの確認、メンテナンスを実施する。

### (2) 協賛ショップの運営

協議会の活動主旨に賛同する店舗を協賛ショップと認定し、各種サービスの提供など、自転車にやさしい滋賀づくりを目指す。

[2] 社会提案：自転車を活かす暮らし方・まちづくりを提案する

1 サイクルツーリズムシンポジウム

(ア) 事業内容

歴史街道推進協議会が主催する、~~サイクルツーリズム~~シンポジウムを支援する。

(イ) 実施日時

1回

削除：サイクルトレインを

削除：テーマとした

2 エコ交通の推進

- (1) 一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク内にてエコ交通研究会を運営し、セミナー等を通じてエコ交通の普及を図る。

(ア) 事業内容

滋賀グリーン活動ネットワークのエコ交通研究会にて、セミナー等を通じてエコ交通の普及を図る。

(イ) 実施日時

SGN 会員交流会での意見交換会、セミナーの開催、キャンペーンの企画運営、情報提供などを実施する。

削除：滋賀県交通戦略課と協力し、

- (2) 人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀（やさしい交通しが）に参画し、国土交通省の共創プロジェクトに応募して、近江鉄道線を活かした交通まちづくりに関わる人材を育成する。

3 カーゴバイクシンポジウム

ヨーロッパで普及が進む、カーゴバイクの認知を日本でも高めるためのシンポジウムの開催を検討する。

[3] 調査研究：自転車の使いやすい環境やツール等について研究する

1 もう一つのびわ湖の楽しみ方提案

女子的ピワイチを通じた研究を行う。「初めてのピワイチ」「女子のための自転車生活のはじめ方」等のノウハウをまとめていく。

2 自転車女子コミュニティづくり

自転車で楽しむことや自転車と暮らすことを自分のライフスタイルに選ぶ女性「自転車女子（ちゃり女）」を増やすための試行を行う。

3 輪学の開催

自転車関係者のネットワーク強化を念頭におき、自転車に関する事柄をさまざまな角度から勉強していくことを目的に、公開での勉強会や講演会を実施する。

(ア) 事業内容

自転車関係者のネットワーク強化を念頭におき、自転車に関する事柄をさまざまな角度から勉強していくことを目的に、公開での勉強会や講演会を実施する。  
本年度は、自転車関係者のネットワーク強化を目的に開催する。

(イ) 実施日時

数回程度

4 受託事業の実施

- 1) 会員が輪の国びわ湖の情報を用いて行う事業、及び一般社団法人輪の国びわ湖との連携など、必要な事業を行う。

[4] ネットワーク活動：交通に関連する団体や個人と関係を深める

- 1 滋賀プラス・サイクル推進協議会の事務局を担当する
- 2 一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク エコ交通研究会との連携  
自転車通勤等のエコ通勤やエコ交通システムの普及啓発について研究および実践を行う。
- 3 自転車新文化を作るネットワーク活動  
輪学 2017 のネットワークを中心に、自転車新文化を創るネットワーク活動を関係する団体とともに展開する。  
(ア) 事業内容  
サイクルツーリズムシンポジウム、ピワイチ 2.0、輪学 2019 に参加した関係団体を中心に、県内の自転車関係者のつながる場を創り、互いの活動の連携を深める。  
本年度は、会員交流会や輪学における意見交換を通じて互いの活動を知り合い、連携を深める。  
(イ) 実施日時  
数回程度
- 4 人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀（やさしい交通しが）との連携  
交通まちづくりをすすめる人材を育成するための事業を行う。
- 5 その他  
先進事例調査、市民参加のマップづくり（道路整備につなげる）、通学用自転車とヘルメットの改善、ピワイチの日・ピワイチ週間との連携など、方針 1 を進めるために必要な事業に取り組む。  
自転車イベント・ツアー等の広報、スタッフの融通、助っ人制度、サイクルガイドのネットワークなど、方針 2 を進めるために必要な事業に取り組む。
- 6 会議の実施  
協議会事業の推進のため、運営委員会として「輪の国びわ湖」ミーティング及びリトリートを実施する。  
(ア) 事業内容  
輪の国びわ湖推進協議会規約第八条における運営委員会を、「輪の国びわ湖」ミーティング及びリトリートの名称で実施する。  
(イ) 実施日時、実施場所  
「輪の国びわ湖」ミーティング 月 1 回実施 1 1 回  
「輪の国びわ湖」リトリート（日帰りミーティング）※ 年 1 回程度実施  
総会 年 1 回実施  
※ミーティングでは、「自転車から滋賀を変えていく」ことに向けた、自由な意見交換を行っていく  
※ワークショップ 輪の国びわ湖としての中長期方針や広報戦略、ブランディング、体制づくり等について検討

削除: ピワイチ公式ガイド作成と

削除: 近江鉄道線を活用した

第4号議案 輪の国びわ湖推進協議会 令和7年度(2025)予算(案)

令和7(2025)年4月1日から令和8(2026)年3月31日まで

収入の部		R7予算額	R6予算額
項目			
繰り越し		¥735,491	¥1,262,648
事業収入			
びわ湖一周サイクリング認定証	1800	¥2,160,000	¥2,160,000
Webページ広告収入		¥0	¥0
書籍販売収入(買上)		¥0	¥0
書籍印税収入		¥0	¥0
出展費(協賛金収入)		¥0	¥0
物販		¥0	¥0
寄付金		¥50,000	¥50,000
講演・取材対応		¥0	¥0
ロイヤリティ		¥40,000	¥40,000
基金			
ガイドブック作成費		¥0	¥0
雑収入			
利子		¥100	¥100
雑収入		¥1,000	¥1,000
合計		¥2,986,591	¥3,513,748
支出の部			
項目			R6予算額
事業費			
びわ湖一周サイクリング認定証事務費	1800	¥1,260,000	¥1,260,000
びわ湖一周サイクリング認定証材料費		¥100,000	¥100,000
びわ湖一周システム改修費		¥0	¥0
広報費(パンフレット等)		¥80,000	¥80,000
広報費(Webサイト・メルマガ)		¥50,000	¥50,000
物販		¥0	¥0
寄付金付き自販機事業		¥5,000	¥5,000
輪学運営費		¥200,000	¥200,000
エコ交通の推進		¥200,000	¥200,000
出展費(11/3イベント含む)		¥200,000	¥10,000
安全啓発ポスター		-	-
ガイドブック・Webサイトに向けたコンテンツ作成		-	-
もう一つのびわ湖の楽しみかた提案		¥120,000	¥120,000
受託事業費		¥0	¥0
講演取材対応		¥0	¥0
事務費			
会議運営・総会運営		¥120,000	¥120,000
会議会場費用		¥50,000	¥50,000
事務局FAX費		¥12,936	¥12,936
税理士		¥165,000	¥165,000
運営費			
ホームページサーバー費		¥5,238	¥5,238
ホームページドメイン費		¥3,124	¥3,124
ホームページメンテナンス費		¥50,000	¥50,000
諸会費			
びわこビジネスビューロー会費		¥10,000	¥10,000
滋賀グリーン活動ネットワーク会費		¥5,000	¥5,000
基金			
ガイドブック作成費		¥100,000	¥100,000
法人税			
法人税		¥200,000	¥200,000
雑費			
振込手数料		¥25,000	¥25,000
その他雑費		¥25,293	¥742,450
合計		¥2,986,591	¥3,513,748
差し引き		¥0	¥0

収入の部		
項目		
繰り越し		
事業収入		
びわ湖一周サイクリング認定証	1800	
Webページ広告収入		
書籍販売収入(買上)		
書籍印税収入		
出展費(協賛金収入)		
物販		
寄付金		
講演・取材対応		
ロイヤリティ		
基金		
ガイドブック作成費		
雑収入		
利子		
雑収入		
合計		
支出の部		
項目		
事業費		
びわ湖一周サイクリング認定証事務費	1800	
びわ湖一周サイクリング認定証材料費		
びわ湖一周システム改修費		
広報費(パンフレット等)		
広報費(Webサイト・メルマガ)		
物販		
寄付金付き自販機事業		
輪学運営費		
エコ交通の推進		
出展費(11/3イベント含む)		
安全啓発ポスター		
ガイドブック・Webサイトに向けたコンテンツ作成		
もう一つのびわ湖の楽しみかた提案		
受託事業費		
講演取材対応		
事務費		
会議運営・総会運営		
会議会場費用		
事務局FAX費		
税理士		
運営費		
ホームページサーバー費		
ホームページドメイン費		
ホームページメンテナンス費		
諸会費		
びわこビジネスビューロー会費		
滋賀グリーン活動ネットワーク会費		
基金		
ガイドブック作成費		
法人税		
法人税		
雑費		
振込手数料		
その他雑費		
合計		
削除:		差し引き

参考資料

輪の国びわ湖推進協議会規約

(名 称)

第一条 この会は、輪の国びわ湖推進協議会（以下、協議会という。）と称し、英名は、WANOKUNI Lake Biwa Cycling Promotion Council とする。

(目 的)

第二条 自転車の持つ楽しさや可能性を爆発的にアピールする場として、滋賀が誇る「びわ湖一周サイクリング」をキーとしてムーブメントをつくり、自転車利用者の増加を図ること。また、関係団体との協働のもと、県内外の人々が自転車生活の素晴らしさに気づき、理解し、体験し、生活に取り入れることにより、滋賀が「輪の国」になることを目指す。

(活動内容)

第三条 この協議会では、第二条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 「輪の国びわ湖」推進に向けた普及啓発事業
- (2) 「輪の国びわ湖」推進に向けた社会提案事業
- (3) 「輪の国びわ湖」推進に向けた調査研究事業
- (4) 「輪の国びわ湖」推進に向けたネットワーク構築事業
- (5) その他目的を達成するために必要な事業

(構成)

第四条 協議会は、正会員及び一般会員で構成する。

- (1) 正会員は、協議会の目的に賛同し、自ら協議会の運営に携わる団体・個人とする。
  - (2) 一般会員は、協議会の目的に賛同する団体・個人及び地方公共団体内の組織（部・課等）とする。
- 2 一般会員は、会議における議決権を有しないものとする。

(入退会)

第五条 正会員または一般会員として入会を希望する者は、協議会の定める入会申込書を協議会事務局に提出する。

- 2 運営委員会において入会申込書を審議し、その承認をもって入会とする。
- 3 正会員または一般会員が会員種別の変更の申し出をしようとするときは、協議会事務局に通達し、運営委員会の承認をもって変更とする。
- 4 正会員または一般会員が退会の申し出をしようとするときは、協議会事務局に通達する。

(役 員)

第六条 協議会活動の円滑な推進のため、以下の役員をおく。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 事務局長兼会計 1名
- (4) 監事 2名

2 役員は協議会の会議において選出する。

(役員任期)

第七条 役員任期は二年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員途中退任における補欠役員任期は、前任者の残任期とする。

(会議開催)

第八条 協議会の会議は、総会、運営委員会とする。

2 協議会の会議は必要に応じ、会長が召集する。

(総会)

第九条 総会は年1回開催するほか、必要に応じて臨時に開催する。

2 総会は次の事項を議決する

(1) 事業計画および予算に関する事

(2) 事業報告および決算に関する事

(3) 規約の変更に関する事

(4) その他会長が必要と認めた事項

3 総会は正会員の過半数の出席をもって成立するものとする。

4 総会の議長は、出席の正会員から選出する。

5 総会の議事は、出席の正会員の過半数で決する。

(運営委員会)

第十条 協議会活動の円滑な推進のため、運営委員会を設置する。

2 運営委員会は、会長、副会長、事務局長、運営委員によって構成し、必要に応じて開催する。

3 運営委員は、正会員である個人または団体の構成員から会長が指名するものとする。

(会計)

第十一条 事業・事務経費等の経費は、自主事業収入、その他収入をもって充てる。

2 会計年度は、4月1日から翌年3月31日までの1年間とする。

(所在地)

第十二条 協議会を次の所在地におく。

滋賀県守山市梅田町3番6号 南井産業第1ビル

(事務局)

第十三条 協議会の活動を円滑にするため、次の所在地に事務局をおく。

滋賀県湖南市菩提寺東二丁目6番51号 一般社団法人輪の国びわ湖内

(設立年月日)

第十四条 協議会の設立年月日は平成21年10月2日とする。

(委任)

第十五条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は運営委員会でこれを定める。

附則 この規約は平成 21 年 10 月 2 日から施行する。

附則（平成 22 年 5 月 7 日）

- 1 設立当初の役員任期は、本規約第六条第一項の規定にかかわらず、設立の日から平成 24 年 3 月 31 日までとする。
- 2 この改訂は、平成 22 年 5 月 7 日から施行する。

附則（平成 23 年 5 月 6 日）

- 1 この改訂により選出された監事の役員任期は、本規約第六条第一項規定にかかわらず、平成 24 年 3 月 31 日までとする。
- 2 この改訂は、平成 23 年 5 月 6 日から施行する。

附則（平成 26 年 6 月 6 日） この改訂は、平成 26 年 6 月 6 日から施行する。

附則（平成 26 年 10 月 1 日） この改訂は、平成 26 年 10 月 1 日から施行する。

附則（平成 27 年 11 月 15 日） この改訂は、平成 27 年 11 月 15 日から施行する。

附則（平成 28 年 7 月 20 日） この改訂は、平成 28 年 7 月 20 日から施行する。

附則（令和 3 年 4 月 10 日） この改訂は、令和 3 年 4 月 15 日から施行する。